



護持会報告など  
 報恩講兼光照寺創立三十周年法要  
 十月十一日(日)午後一時 厳修  
 詳細は3頁  
 詳細は1頁



お盆法要勤行(内勤め)



御文拝読



お盆表白

**光照寺寺報**  
 発行所  
 真宗大谷派 弘興山  
 宗教法人光照寺  
 〒331-0821  
 さいたま市北区別所町102-2  
 電話：048-651-2781(代)  
 FAX：048-651-2753  
 E-mail  
 yasuragi@beige.ocn.ne.jp  
 ホームページ  
 http://koshoji76.jp  
 発行人 住職 池田孝三郎

### 光照寺護持会総会

#### 三役 会議終了のご報告

第二十一回光照寺護持会総会、三役会議を二〇二〇年六月八日(月)午後一時、本堂にて開催しました。今回はコロナ禍において三役のみの開催と致しました。

平山会長が議長として進行し、活動実績及び、収支決算と監査報告、活動計画と収支予算案について、何れも原案通り可決承認されました。

住職より、今後の法要について、お盆は内勤め(僧侶のみ読経、参詣者は焼香して解散)で勤修し、秋彼岸は通常開催、報恩講は午後からの開催を現段階では考えています。と報告がありました。

また、お寺の法要のお手伝いスタッフとして関わって頂ける方は、護持会の役員に是非入って頂きたいと願っています。とお話がありました。

今年の旅行は中止となりました。また、聞法会や行事が中止となったり、変更があったりしますが、その都度ご確認を頂きますようお願い申し上げます。

ここに謹んでご報告申し上げます。まだまだ先が見えない中で、対応しながら法灯を絶やさず歩んでいきますので、益々のご協力を切にお願い申し上げます。

合掌。

### 坊守池田恵美得度

二〇二〇年六月二十三日(火)京都の本山東本願寺にて、坊守池田恵美(法名・釋尼恵照)が得度して僧侶となりました。これからもどうぞ宜しくお願いします。



### 真宗本願取骨

二〇二〇年八月二十日(土)京都の本山東本願寺、宗祖親鸞聖人の座像が安置されている御影堂にて、前住職の分骨を納骨してきました。昔は須弥壇取骨と称していましたが、現在は真宗本願取骨と呼ばれています。宗祖の教えと共に生きる実感が湧きました。



### お盆



### 真の依り処

御文に八万の法蔵をしるといふとも後世をしらざる人を愚者とす。たとひ一文不知の尼入道なりといふも、後世をしるを智者とすといへり。とあります。身心ともぐらぐらゆさぶられこの愚者は私です。いつも頭を上げようと思っている私。弥陀に教えを頂き気づいた時だけ申し訳ありませんと懺悔するのみです。五念門を行う。いつも佛の前にいると安心して礼拝門出来ます。尊いことばでほめるように讃嘆門を行い、常に自分をおまもり下さっている事に祈りをもち作願門を申し、道理を正しく見る観察門し、相手の立場に立つて考え同情同感の回向門を申させていただきます。罪深き障り多き我身苦悩はなくなりませんがそこに意味を見いだすことが出来れば人は生きていけるものです。

南無阿弥陀佛。  
岡田ノリ子

### 鈴の音

不平不満、  
暗い愚痴に落ちていく  
生活のところに、  
本願、法蔵の修行はある。  
神戸和麿  
〔歎異抄に聴くより〕



生(真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研

【報恩講は宗祖、親鸞聖人のご恩徳に  
報謝し、いのちの道理を深く尋ねる法  
要で、一年の中で最も大切な仏事で  
す。真宗門徒として必ず勤める法要で  
あり、光照寺の今年度最後の大きい法  
要ですので是非ともご参詣下さい。】

# 報恩講兼光照寺創立三十周年法要

究員・京都教区専光寺住職 をお迎え  
して報恩講を勤修致します。また、光  
照寺創立三十周年法要を兼ねて勤修  
します。コロナ禍を鑑みて、お斎はお  
持ち帰りでご用意し、午後からの開催  
とさせて頂きます。ご家族、縁者お誘  
い合わせの上、多くの方々のご参詣を  
お待ちしております。

住職(釋徹照)

## 報恩講兼 光照寺創立三十周年法要

- ・ 10月11日(日)
- ・ 午後1時～3時頃(12時30分受付)
- ・ 場所 光照寺本堂
- ・ 法要勤修
- ・ 法話 本明 義樹先生  
(真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員・  
京都教区専光寺住職)
- ・ 講題 「濁世に立つ」

プロフィール:

1972年生まれ。大谷大学大学院博士課程満期退学。大谷大学聖教編纂室にて坂東本『教行信証』等の翻刻事業に従事する。真宗大谷派教学研究員を経て、現在、真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員。博士(文学)。

先生よりメッセージ:

「濁りの世といえる現代社会において、私たちが生きていくことの意義を聞法を通して確かめさせて頂きたいと思えます。」

●先生の書著:

論文に「親鸞における本願力回向開頭の意義一坂東本『教行信証』を精読して」など多数。

※準備の都合上、出席の際は、10月3日前にはお寺にご連絡下さい。

- 午後 12:30 受付
- 1:00 勤行
- 1:40 住職挨拶
- 1:45 法話
- 3:00 終了予定

## ひと 欵異抄

羅漢:「慈悲に聖道・浄土のかわりめありとはいかに」第4章



「念仏もうすのみぞ、すえとおりたる大慈悲心にてそうろう。」

川越喜多院の五百羅漢

# お知らせ

— 寺務所より —

## 新型コロナウイルスに関して

● 新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止に伴い、予定されている行事は状況により、中止又は変更がありますので「ご承知下さい。随時HPをご確認頂くかお問い合わせ下さい。個別のご法事、お葬儀はお参りさせて頂きます。

◆ 法要のご案内

● 報恩講兼光照寺創立三十周年法要  
十月十日(日)午後二時より勤修。講師は本明義樹先生(真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員・専光寺住職)コロナ禍を鑑みて、午後開催としました。

● 修正会  
二〇二一年一月一日元旦、午後一時より勤修。新年を阿弥陀如来のご尊前より出発致します。

◆ 聞法会のお知らせ

● 親鸞聖人のみ教えに聞く会  
講師は延塚知道先生(大谷大学名誉教授)今後の日程は未定ですが、開催の際はご参加下さい。午後一時半〜四時半。『教行信証』を学んでいます。

● 大経の会  
十月は報恩講、十一月二十日、十二月十三日。午前十時〜午後三時。講師は佐々木師と住職の担当月別。細川巖著『正信偈讃仰』(七)を学んでいます。お弁当持参して下さい。変更もあります。

● 我聞の会  
十月二十一日、十一月十八日、十二

月十七日。午後二時〜四時。講師は住職。『歎異抄』を学んでいます。

● 微風学舎  
十月二十七日、十一月三十日、十二月二十一日。午後七時〜九時。講師は住職。『高僧和讃講義(二)』延塚知道著を学んでいます。

● 真宗に学ぶついで  
十二月七日、午後一時三十分〜四時。会場は一心寺、講師は一條顕良氏。

## ◆ お願い

ご自宅で法事の際は駐車場をご用意下さい。マスク着用と換気を宜しくお願いします。

住所・電話番号変更の際は必ずご連絡下さい。

## 俳句・川柳

吉澤 光昭

秋遍路修へて足音耳にあり  
自分史の頁書き足す秋ともし  
影正す霧の切れ間の末登峰  
火山礫踏まう眼下の谷紅葉  
安達太良や智恵子の空の紅葉晴

山田 恒

修羅さなか海馬の蓋を開けておく  
天空で魔女が覗いた余命表

## 短歌(詩)

佐々木 玄吾

朝つとめ師のみ教を妻がよむ

新たな領解毎朝たまう  
夕涼み堤防歩む妻と我  
瀬音聞きつつ杖ひきながら

佐々木 文子

会館の庭に真赤な大トマト  
もいで喜ぶ子らの歓声  
アスパラのほんわか葉っぱをなでながら  
三年目春の芽ぶき待たるる

赤秀 品枝

食欲の心でえらぶ盆の花  
清浄の心さらになきなり  
この夏は暑さとコロナで愚痴ばかり  
心の中で詫げる毎日

山田 恒

梅雨明けを知らせるような蝉時雨  
コロナに戸惑う吾に向かいて  
テレビから小さく流れるマイウエー  
夜半の窓辺で口ずさみおり

釋尼 邦照

弥陀光に会えずに闇のただ中で  
先人のみ手は受けとめつつまん

## 漢詩

篠原 潤子

祖父偈夏  
夕日染海漁船出  
衆言鳥賊漁師神  
板子一枚即地獄  
家族常祈無事帰



天使の階段(寺泊) 山田 邦興 画

## 梵鐘

新型コロナウイルス流行は未だ収束の兆しもなく、生活全般に亘って様々な影響を及ぼしています。ステイホーム、テレワーク、自粛警察等々。多くの流行語が生まれました。日々の暮らしの中で、新たな経験をおして、時代の変化を感じ取る私達です。そんな年である令和二年。光照寺は創立三十周年を迎えました。これから光照寺の新しい歩みが始まります。

親鸞聖人は激動の時代を歩まれました。今の時代は聖人にどの様に映るのでしょうか。

「衰纏う 行脚姿の 聖人は 未来際をも 願いつつ立つ」

池田孝郎(前任職)  
合掌 藤原自雄